



松井さんの心情がわかるのはどこ。

「もぎたてなのです。きのう、いかなのおふくろが、速達でおくってくれました。においまでわたしにとどけたかったのでしょう。」

ぼうしをつまみ上げたたん、ふわっと何かが飛び出しました。「あれっ。」もんしろちようです。あわててぼうしをふり回しました。

「せっかくのえものがいなくなっていたら、この子は、どんなにがっかりするだろう。」

まるで、あたたかい日の光をそのままそめつけたような、見事な色でした。すっぱい、いいにおいが風であたりに広がりました。

「おどろいただろうな。まほうのみかんと思うかな。まなにしろ、ちようが化けたんだから！」  
「ふふっ。」